

1月29日 あつた観光まちづくり連盟情報交換会 グループ意見の全体共有での発言概要

【A グループ】

熱田神宮では正月の1月1日から1月18日まで駐車場を閉鎖しており、19日以降の状況の情報共有があった。朝9時には、駐車場400台が満車になり、周辺に渋滞が起きてしまったと。その話題を情報共有していただき他の参加者の取り組みを伺った。

イオンモールも1月1日から4日に関しては、パークアンドライドということでシャトルバス（熱田神宮⇄イオンモール熱田）を運行され、普段も日中巡回バスを運行している。今無料で展開しているが運行するにあたって様々な人件費など、経費がかかるというところで、いかに持続可能な形に持っていけるのかという話があった。

セントレアからはインバウンド誘致の話があり、いかに熱田の魅力を発信して、インバウンド誘致につなげられるかという話があった。

魅力発信の部分では、地域の文化や、熱田の歴史、人・文化をいかに継承、つなげていけるかという部分の話もさまざまな方からあった。

人・文化、魅力づくり発信をいかに持続的な形で引き継いでつなげていく、仕組みづくりが大事であるというまとめがあった。

〈その他発言メモより〉

- ・まきわら船を復活させたい。
- ・山車の復元・木造化していきたいが電線が課題。
- ・観光バス社会実験について

【B グループ】

Bグループは堀川の水辺に関わる方が多かったため、主に堀川についての話が中心になった。

その中でも東山ガーデンからは水を使った観光の課題と現状の話を聞いた。名古屋城から納屋橋までは観光として走っているが、納屋橋から宮の渡しまではなかなかつながらないという課題がある。なぜそうなるのかを皆さんで議論した。周囲の観光が良くなることには、堀川クルーズにはつながらないということが一番の大きな課題であるという話になった。エリアプラットフォームなども着目していろいろ話が議論されていると思うが、やはり名所になるような、賑わいを作っていくことは直近の課題である。一緒に考えていけたらと思う。

高蔵学区の会長様が尾頭橋の親水空間も最近有効利用されている話があった。

まだ始まったばかりで、なかなか学区との連携が取れてないようだ。そういう課題も行政と民間と一般の方と連携していかないと熱田はどんどん盛り上がっていかないということだと思う。

そういった意味で、観光というところにおいては、まだまだ熱田も課題は多いが魅力もいっぱいあり、特に都市研究所スパーシアさんがいろんな素晴らしい提案を今後していただけると思うため期待している。

またメンバーより電飾船パレードの復活をまずはお願いしたいという意見もあった。

【Cグループ】

人口がどんどん減っていき、まちづくりもだいが変わってきているようなところがある。そういう意味で道路を狭くするなど、車社会から人中心の社会に変わっていくということも。

特に熱田の方は宮宿会が結構いっぱい活動されている。

エリアマネジメント、地域のマネジメントをやっていく会社を作られるということで、シェアリングの自転車ポートを担当されており公共交通に変わるポートとか街と街をつなぐ政策をどんどんやっていきたい。

また、公共と民間の連携ということで、今、公共の土地の金山駅の南の広場で2月23日に焼きそばバトルを南口のマルシェですずっとやられて、土日中心に民間を動かしている形もある。

アスナルは2005年から35万人で始まっているが令和5年度ぐらい45万人ぐらいまで伸びて、10万人ほど金山総合駅の人口が増えている。

熱田区の現在のメインとしてはMTGの関係で広場もできたり、飲食店もできたりということで熱田をつないでいく。

JTBや東山ガーデンは熱田とか金山を周遊するというような形で。観光というよりも、人が人を連れてくるというような形をつないでいく。

アジバラで、セントレアにアジアの人が来ると。それで金山で降りていただき、マルシェでちょっと遊んでいただき、アスナル寄って劇団四季さんに行き、古墳を見て帰るといいのではということで、まとまった。

〈その他発言メモより〉

- ・東海地区最大の断夫山古墳を活用。入山も可能
- ・中央市場工事に入る
- ・宮の渡しに鳥居型モニュメント
- ・神宮参拝だけでなく、その先がないとお金が落ちない。
- ・アスナルと市民会館工事 同時は懸念

【Dグループ】

トピックスとして、2つあり。

1つ目は紙の温度株式会社より紙にまつわるご商売を昔の歴史から街の歴史に関わる話を交えて伺った。

2点目は熱田神宮前まちづくり協議会での神宮前商店街の状況、アーケード維持管理の大変さやまちづくりが新しい世代に変わっていく中で、一方で昔からご商売をやってらっしゃった方や住んでいらっしゃる方がいる中でのまちづくりの進め方についてのお話があった。土地の持ち主も、建物の持ち主も分からないことがあり、そこを紐解く作業がすごく大変だったという話も伺った。進めてはいくがやり始めるまで結構大変であることを伺った。なかなか今まで伺い知ることができなかった歴史を共有できて、有意義な時間となった。

【E グループ】

自己紹介の中から名古屋飛ばしというキーワードが出た。それをどうしたら良くなっていくのかを中心に、議論をした。

名古屋市観光文化交流局から今は熱田と、有松をつなぐ切符や企画乗車券等を含めて、運営をしている話を伺った。

劇団四季ができるが、観光だけとか入場だけとか観賞だけとかで終わるのは、非常にもったいないのではないかと。一番の議論のテーマだった。

具体的には例えば劇団四季を見るなどの体験をするだけではなく、観光客の行動とかを考えた上で必要なものが揃っているのか、その情報発信はちゃんとできているのか、その点は伸びしろがあるというところが、意見として多く出た。

また、アジアパラ競技大会もある。こういった機会も一つ、うまく活用していかないといけないと。これから国際的にイベントの後でどうするのかという意見もでた。例えばアジアパラ競技大会で来る方々、いわゆるアジア圏の方以外にも中東の方も来られると思うがその方々の食事に関して、今の名古屋飯だけでは耐えきれないのではないかと。例えば宗教の対応であったり、そこまで厳格にやらずとも、そういった方々が美味しく食べられるようなものということもあると。もしかしたらそれがまだ名古屋市、愛知県の中で整っていないとしたら、それを熱田からやればいい、そのような意見もあった。

新たな観点で一緒に皆さん取り組んでいくのはどうかというふうに、最後はまとまった。

〈その他発言メモより〉

- ・民間企業と地域の方が協力していけるとよい。
- ・あつた naAgaya は若者が多い。平日の夜は早く閉まってしまう。

【F グループ】

名鉄観光は、愛知県の中の観光コンテンツを色々作成している。その中で英語版の、インバウンド向けの冊子も、観光会社に配られているということ。熱田のものも具体的に検討していただいているというお話を聞いた。

中電不動産は地域との連携を深めるために、継続して瑞穂でいいねマルシェを展開しており、そういうところから地域を見直していくという方向性を出した。

緑化の話が出た中で、この暑さで埋もれてしまっている旧東海道の松並木、固定式だとなかなか難しい話があるが社会実験的に、旧東海道の松並木の復活みたいなものをちょっとミニ再生できるという話がかんという話が盛り上がった。

国際会議場は、27年の4月にオープンするというので、オープンした以降、できるだけまた地域の方と、いろんな連携を取りながらやりたいという話があった。今白鳥公園の再整備も止まっているが、できたら定期的に国際会議場と白鳥庭園と、公園と、堀川を一体化したような話し合いを定期的にして、要望をどんどん出していく場を作っていたらとありがたいという話があった。

皆同じ共通の意見で出たのが、バラバラになっているポイントをできるだけつなげていきたいと。点を結んで面にすると。熱田は堀川が流れて、棧橋が二ヶ所あって、名古屋城とつながっているというコンテンツを考えると、堀川をどう生かすか。熱田に下ってきた船の方に熱田をどう見せるか、国際会議場含めて、考えるといいのではないかと。

熱田神宮が道路に囲まれて孤立しているという意見がでた。物理的にそれを解消するっていうことはできないのかと。現実にはすぐできる話じゃないが、話をする中でできたのは、例えば大津通りをもうアンダーパスにすると。神宮の前の道路は完全に歩行者天国っぽくして、駅とも完全につながるのはいかがでしょうか。ただ、熱田台地は高低差が7m近くある場所がたくさんあるため、そういうことも含めて、面としてつなげる見直しをできるだけ考えていくと、いずれこうあって欲しいという話をいっぱい引き出せるような会にできると良いという話で終わった。

〈その他発言メモより〉

・宮の渡し公園・白鳥公園・古墳周辺の活性化

【Gグループ】

こちらのグループは皆の事業の掘り下げをやった。

まず熱田史跡のガイドの会の方の話から生涯学習センターが窓口になりながら、だいたい1回30人ぐらい集まり三十三観音の案内をされるっていうことを伺った。

熱田祭りの人手のなさとの話が出た。ガイドの会も、熱田祭りも高齢化が進んでおり、人の確保の話が話題になった。

堀川まちネットでの協賛金集めの話。

エリアプラットフォームの方の話の中で熱田神宮に来た人たちの回遊や宮の渡し公園と旧東海道の整備、宮の渡し公園、それから大瀬子公園の整備などなどの話があった。

この地域の本当に深掘りというところをじっくり話した。

〈その他発言メモより〉

- ・熱田神宮の参拝客を熱田のまちに導くには
- ・シェアサイクル・観光バス
- ・区役所南側の空地の再開発

・神宮前商店街

【Hグループ】

熱田の魅力を発表。

まず1つ目に出たのが、熱田は適度に田舎でとても便利で暮らしやすい場所という意見。住宅地ではあるが、他の都市よりも住宅がごちゃついているわけではなかったりとか、あと道路が広いので、ビルがすごく低く見えて圧迫感がなかったりとか、そもそもビルの数が多くもなかったりとか、そういった意味で住みやすく、とてもいい場所だという意見があった。

2つ目に、食べ物がすごく美味しいという意見があった。長屋の台所とも呼ばれているように、日比野の市場では海鮮がとても美味しかったりして、最近では女性一人でもあの市場のお店に来られるようになっていて、美味しい食べ物がすごく多いという意見があった。女性目線で見てみると、最近仕事で熱田に関わるようになって、熱田の街を歩いてみると。とても美味しそうなお店、知らなかったお店がたくさんあった。普段はインスタグラムでよくお店を探すが、どうしても名駅とか栄、あと東山線沿いのお店ばかり出てきて、熱田のお店っていうのを情報あまり得られないが、実際に歩いていると魅力的なお店がいろいろあって。あと治安もすごく良くて、すごく歩きやすくて良い街だなと感じている。また、街の人が穏やかだという意見も出た。

次に、水辺の魅力が意見で出た。川沿いに公園が多くて、白鳥公園とか神宮東公園、宮の渡し公園とかたくさんあって、本当に上流から下流に向けて風景が広がっていくという魅力がある。川があるということで、産業が発達してきた歴史もあり。武豊線の140周年のイベントも今度開催される予定があり、熱田駅の幻の3番ホームと呼ばれている、今は動いていないところでイベントを行われたり、そういった魅力がある。

熱田については歴史があり、美味しい食べ物もたくさんあり、川の資源もあつたりて、伸びしろだったり、潜在能力がたくさんある街だと意見が出た。それがもっと広がって、いろんな人に伝わって、皆さんから好きになってもらえるような街になると良いなという意見がでた。